

きょうのテーマ



はやさアドバイザーの

学ぼう防災

13

皆さんは防災標識を見たことがありますか？
地域で起きる可能性のある災害や過去に発生した被害を知るために、学校や市民センターなど街の中に設置されているのです。

防災標識は文字の代わりにピクトグラム（案内図記号）と呼ばれる絵や記号が使われています。漢字や日本語を読めない

子どもや外国人でも、ピクトグラムを見ればそこにどんな危険があるか、その建物にはどんな機能があるのかをおまかに知ることが出来ます。

例えば、東日本大震災や2019年の東日本台風（台風19号）で被害があった場所には、津波や洪水で浸水した深さが書かれているので、その場所に水害リスクがあるこ

防災標識で危険性を知る

とが分かります。ピクトグラムと地図を組み合わせた標識にすれば、土地勘のない旅行先でも、津波や洪水から逃れるための適切な方向や避難場所までの距離が分かります。

まずは皆さんが暮らす街の中にある防災標識を探してください。過去に発生した津波や洪水の情報があれば、新聞やインターネットで調べ、

家族や先生に当時の様子を聞いてみましょう。学校の正門や裏門の防災標識には、走る人がデザインされ、ここが避難所や避難場所であることが知られます。また、津波や洪水・崖崩れなどの絵と組み合わせることで、ここはどんな災害に対応した避難所か分かるように工夫されています。

多くの学校は災害時の避難所や避難場所に指定されています。皆さんの学校は、どの災害に対応した避難所なのか確認し

てください。防災標識が伝えたいこと、分かりやすく伝えるためにどんな工夫がされているかを考えましょう。

もしものときの避難先や避難するときの持ち物についても家族で話し合いながら、命を守る力を身に付けてくださいね。

（仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人）

訂正
21日の「もつと教えて」の写真説明で、永沼さんは右から3人目でした。

知ってる？ 防災標識



災害の種類や避難場所、標識がある場所からの距離を知らせます

指定避難所



学校って指定避難所なんだね



津波避難タワー



ここは津波から逃げる場所だ



みんなのまちの防災標識を調べてみよう！

今週の注目ニュース

◇29日（月） 昭和の日
国民の祝日に関する法律によると「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代をかえりみ、国の将来に思いをいたす」日です。昭和天皇（1901～89年）の誕生日であり、89～2006年はみどりの日でした。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる！ こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者募集

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ